



お知らせ

記者発表資料

平成23年 5月12日

配布日

■同時発表先 : 岡山県政記者クラブ

: 倉敷市役所記者クラブ

高梁川水系新成羽川ダムの貯水位が平年並みまで回復！

新成羽川ダム（中国電力株）は、取水ロススクリーン取替工事を1月21日に完了し、1月22日より貯水位回復に向けて貯留を開始しました。2月中旬からの降雨、雪解け及び4月の降雨により、順調に回復傾向であり、5月9日からの降雨で5月12日9時現在の貯水位は、24.81mに達し、過去10ヶ年平均の貯水位に回復しました。

5月12日現在の高梁川水系の主要6ダム貯水量は下記のとおりです。

●6ダム貯水容量

高梁川水系の主要6ダムの状況は、12日9時現在で100%、貯水量10,693万m³（過去10ヶ年平均(H13-H22)は、91.6% 9,766万m³）です。

ダム名	貯水量(千m ³)	貯水率(%)	備考
6ダム合計	106,926	100	千屋ダム・河本ダム・高瀬川ダム・三室川ダム・小阪部川ダム・新成羽川ダム
10ヶ年平均	97,660	91.6	(H13-H22)

高梁川水系水利用協議会では、高梁川水系の円滑な水利用に向けて、平成22年11月2日よりダム統合運用の調整を14回実施してきましたが、6ダム貯水率が過去10ヶ年平均を上回ったため、ダム統合運用（プール運用）の調整を解除しました。

<ダム統合運用（プール運用）の調整とは>

生活や産業活動に影響が出ないように、河川流量を監視しながら、ダム管理者ときめ細やかなダム放流操作を調整しました。

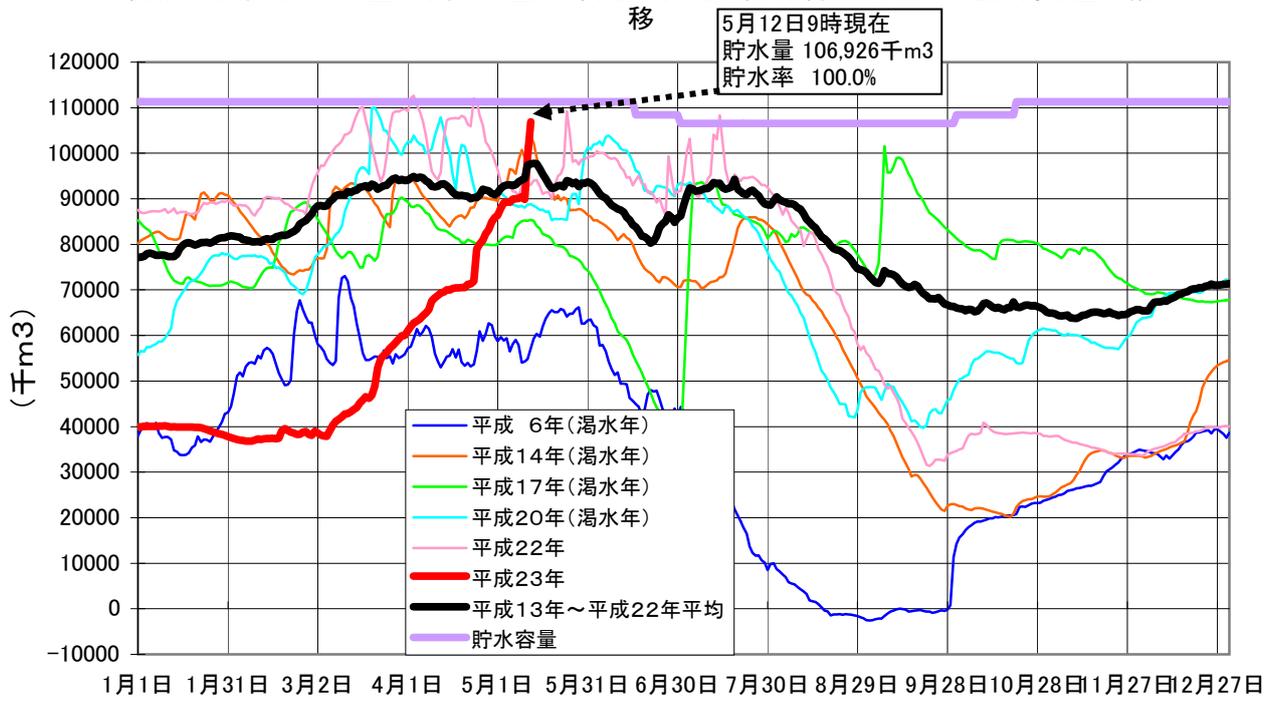
ダム貯水量は、岡山河川事務所ホームページ（<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>）で公開しています。

<問い合わせ先>

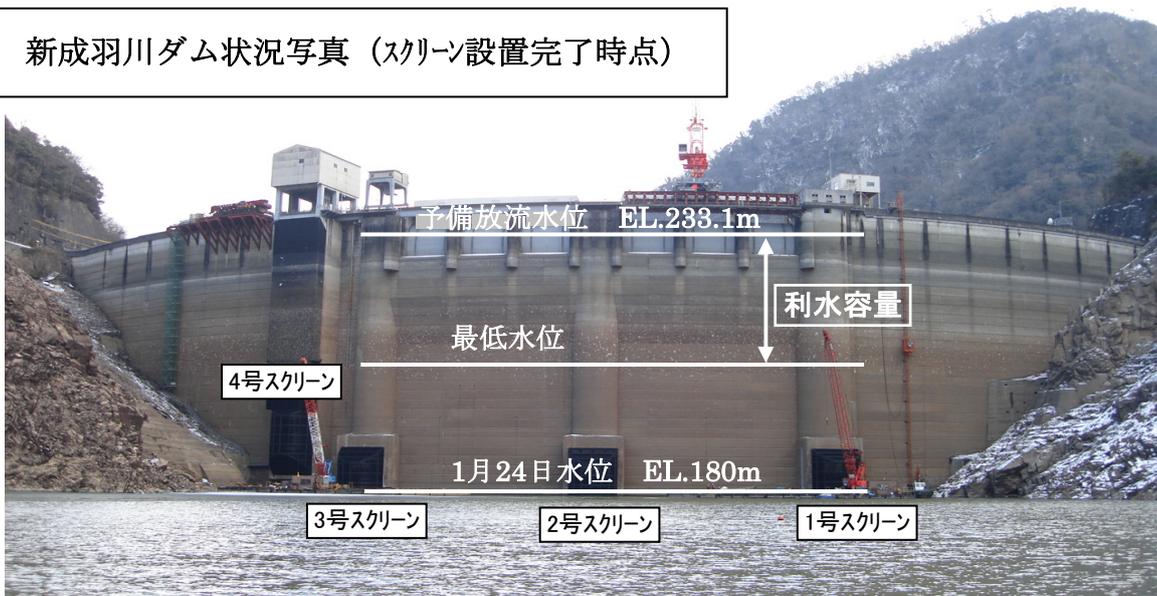
国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 086-223-5194(管理第一課直通)

【担当】 副所長(技術) 植田 (内線 205)
管理第一課長 長畑 (内線 331)
専門職 中野 (内線 330)

高梁川水系6ダム(千屋、河本、三室川、高瀬川、小阪部川、新成羽川ダム)合計貯水量の推移



新成羽川ダム状況写真 (スクリーン設置完了時点)



新成羽川ダム水位回復時写真 (H23. 5. 11撮影)

